

記者発表票 (記者発表・資料配付)			
発表年月日	令和4年11月15日(火)	担当地方機関	丹波県民局 丹波農林振興事務所
電話番号・内線	0795-72-0500 (内線300) 0795-73-3793 (直通)	担当課	農政振興課
発表者	所長 東浦 実	事務担当者	課長 西川 毅
解禁日時	○無・有 (月 日 時解禁)		
同時発表先	○無・有		
特記事項			

“丹波篠山 山の芋フェア”の開催

丹波地域の秋から冬を彩る丹波栗、丹波大納言小豆に引き続き、丹波篠山市産の山の芋の「産地」としての魅力発信するため、11月19日から2月5日に“丹波篠山 山の芋フェア”を開催します。

山の芋の生産者や山の芋取扱店(飲食、購入)等と連携し、「産地」としての魅力発信します。今回で5回目の開催となります。

- (1) 期間 11月19日(土)～2月5日(日)
- (2) 場所 丹波篠山市内のレストラン、直売所など40店舗
- (3) 主催 丹波篠山ブランド産品戦略会議(丹波篠山市農都政策課内)
※構成員：丹波篠山市、丹波農林振興事務所、丹波農業改良普及センター、JA丹波ささやま
- (4) 内容 とろろ井やとろろそば・うどん、山の芋の一品料理など、粘りの強さが特長の山の芋を使った料理が食べられる店舗や山の芋販売店、レシピをリーフレットで紹介し、旬のおいしさを楽しんでいただきます。
- (5) その他 ①上記参加店舗でもらえるアンケートにお答えいただくと20名の方に丹波篠山とろろご飯セットが当たるプレゼントキャンペーンを実施します。
②「丹波篠山山の芋」の動画を見て、その感想を送信すると5名の方に山の芋&プチ贅沢3品が当たる動画視聴プレゼント企画を実施します。(詳しくは別添チラシ)

【今年の提供メニュー例】



丹波篠山産の山の芋を使ったとろろそば



山の芋を使った牛とろろ丼膳



山の芋を使った猪とろろ丼

丹波篠山 山の芋



江戸時代の書物「篠山封疆志(ささやまほうきょうし)」の記述によると、丹波篠山山の芋は、約300年前から栽培され、丹波地域の名品と認識されていました。

丹波篠山の気候風土から生まれる粘りの強さは折り紙つきで、栄養価が高く、肉質は純白できめが細かく緻密です。高級贈答品としても人気があります。